

2010年9月27日

昭和電線ホールディングス株式会社

(コード番号 5805)

2010年 昭和電線グループCSR報告書

昭和電線ホールディングス株式会社（取締役社長 富井俊夫）は、「CSR報告書」として、2009年度の昭和電線グループの環境保全を含めたCSR活動をステークホルダーの観点からとりまとめました。

2010年度からの3ヵ年経営計画「GLOBAL SWCC 2012」に触れ、今後の経営戦略・目標や注力する新製品開発などをご紹介します。また、経営理念である「信頼」を実現するための活動として、コンプライアンス体制の充実をはじめとするCSR体制、品質向上、人権・雇用、安全・衛生、地域コミュニケーションなどの「社会・経済報告」と環境マネジメント体制、環境自主行動計画、環境配慮型製品の開発の成果などの「環境報告」に分けて紹介し、巻末に第三者意見を掲載しています。



【主なトピックス】

1. 社会・経済報告

- ・コンプライアンス強化への取り組み
- ・中期経営計画「GLOBAL SWCC 2012」の紹介
- ・お客様満足向上： 品質改善の横串活動
- ・株主・投資家： IR関連のホームページリニューアル
- ・人権・雇用： メンタルヘルス研修、相談窓口の充実
- ・安全・衛生： ドラム災害の撲滅活動⇒ 災害0件
- ・地域コミュニケーション： 鳥の巣箱設置、工場見学の受入れ、清掃活動

2. 環境報告

- ・環境マネジメント体制、環境に対する教育・啓発活動
- ・環境配慮型製品の開発： 超細径LANケーブル（富士電線株）
- ・地球温暖化対策： 省エネに配慮した社員食堂の改装、押出機モーター更新 他
- ・ボランティアプランの達成状況

エネルギー削減量、資源有効活用など5項目で達成したが、生産量の落ち込みによりエネルギー原単位、温暖化効果ガスの排出量削減の2項目で目標未達成となった。

3. 環境会計

2009年度の環境会計は、「銅の回収、再資源により得られた収入額」が前年度比880百万円減少し、経済効果は2,960百万円となりました。

| グループ全体 (単位:百万円) | 2009年度 | | 2008年度 | |
|--------------------|--------|-----|--------|-----|
| | 投資額 | 費用 | 投資額 | 費用 |
| 環境保全コスト | 252 | 857 | 309 | 782 |
| 経済効果 | 2,960 | | 3,828 | |

以上

この件に関するお問合せは、下記宛にお願いします。

経営企画部 IR・広報グループ 03-5532-1911